

1. 教育計画

公衆衛生看護学

分野	専門分野 公衆衛生看護学	科目名	母子保健活動
単位・時間	1 単位・15 時間	対象学年	4 年生
方法	講義	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	外部講師 永瀬 悦子 (8 時間) 外部講師 安齋 久恵 (2 時間) 専任教員 阿部 晶子 (4 時間)		
講師の実務経験	阿部：産業保健師として8年、保健師として星総合病院に9年		
学習目標	1. 母子保健活動の目的を理解し、母子保健活動の内容を理解する。 2. ライフステージごとの対象の特性を理解し、保健活動の方法を理解する。		
成績評価方法	筆記試験 ※出席数及び態度に関しては参考にする		
使用テキスト	『保健学講座 公衆衛生看護活動展開論』メヂカルフレンド社 その他、随時資料を配布する		
参考文献	『国民衛生の動向』		
履修上の留意	授業には積極的に臨んでほしい。		
講師からの メッセージ	広い視野で物事を捉えることができるよう頑張ってください。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
1	2	母子保健の概念	母子保健とは何か、母子保健の変遷	講義	永瀬
2	2	母子保健関連施策	現在の主な母子保健関連施策	〃	永瀬
3	2	子どもの健康課題と支援	子どもの発育発達と生活 乳幼児健康診査と保健指導	〃	永瀬
4	2	母子とその家族における健康課題と支援	支援ニーズの高い子どもと家族の健康課題に対する支援について	〃	永瀬
5	2	地域における母子保健活動の実践	市町村での母子保健活動	〃	安齋
6	2	処遇困難な事例に対する母子支援	地域で過ごす母親の抱える問題や現状 母子への関わり方や他職種との連携	演習	阿部
7	2			〃	
8	2	評価	筆記試験		永瀬